

セーフティネットおよびご特定の子どものみ家庭向けカリフォルニア労働機会・育児責任 (CALWORKS) の新規則

あなたの家庭が対象となる養育規則が改正されました。あなたに関する変更は以下のとおりです。

- ・ あなたは今後、自分の子どもの養育権を郡に「譲渡」する必要は無く、また非親権者または「不在」の親の父権を確立するために養育規則に協力する必要もありません。
- ・ 親権を持たない両親から与えられる、ないしは地域の子供援助局(LCSA)が徴収した養育費のすべてを保持することができるようになります。郡に返金する必要はありません。
- ・ 今後、子どもの親権を持たない両親を見つけることに関する養育規則に従う必要はありません。
- ・ 郡は「養育規則に協力しない」ことを理由、にあなたが得たものを減額できません。
- ・ LCSAで既にオープンケースにしている場合は、徴収された養育費を得るために必要な手続きは特にありません。養育費の金額と着金日を記録してください。あなたが得た養育費を郡に報告しなければならないことがあります。
- ・ オープンケースにしていない場合は、養育費の徴収と給付をLCSAの養育費徴収サービスに申し込む必要があります。郡役所がこの件についての支援を行います。
- ・ あなたが養育費を直接受け取っている場合は、その事例に適用される収入報告書を提出する必要があります。
- ・ CalWORKsによって養育費を得ている場合は、毎月 \$50を合計から控除します。残りの金額はCalWORKsの対象となる場合があります。
- ・ LCSAが徴収した養育費は、今後あなたの家族に支払われる補助金の返済にはならないため、大人向け48ヶ月のCalWORKs時間記録時計の「対象外」つまり「滞納された養育費」が徴収された場合、郡に全額が支払われる、ということです。その場合でも、補助金月数の「対象外」になります。
- ・ あなたがCalFreshも得ている場合は、得られる養育費を補助金額の算出の際考慮することがあります。

ご不明な点は郡までお電話ですぐにお問い合わせください。